

2020 年度 明治大学

【経営学部】

解答時間 60分



配点 100点

ゆ

日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 21 ページある。ただし、白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答欄は裏面にもある。
5. 問題が指示する数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙は持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	

〔I〕

以下の史料を読み、問いに答えなさい。

【史料A】

朕上天ノ景命ニ膺^{あた}リ萬世一系ノ帝祚^{ていそ}ヲ紹^つキ奄^{おおい}ニ四海ヲ有チ八荒ニ君臨ス今琉球
近ク南服ニ在リ氣類相同ク言文殊ナル無ク薩摩附庸ノ藩タリ而^{してなんじ}ニ爾^ア能
ク勤誠ヲ致ス宜ク顯爵ヲ予フヘシ陸シテ琉球藩王ト爲シ叙^{して}メ華族ニ列ス咨^{あーあなんじ}爾
(ア)其レ藩屏ノ任ヲ重シ衆庶ノ上ニ立チ切ニ朕カ意ヲ體^{して}メ永ク皇室ニ輔タレ
つしめ や
欽ヨ哉

明治(イ)年壬申九月十四日

【史料B】

先般兩度之御達遵奉不致ニ付廢藩置縣ノ御處分被仰付候旨太政大臣(ウ)殿
下ヨリ敝主ヘノ御達書臣等ニモ拝承シ必至ト驚愕手足ヲ措クニ所ナシ依之哀願ス
ル恐^{きょうくしんりつ}懼震慄ノ至ニ堪ヘスト雖モ當藩ハ自ラ開^{かいびやく}闢シ素ヨリ君主ノ權ヲ有シ御内地
舊藩トハ相替リ候處廢藩被仰付候テハ君臣ノ名義相廢リ假令萬民身上ハ如何程御
撫恤ヲ蒙リ候共何共安着不罷成憂心焚ルガ如ク殆ント死ニ就クノ地ニ立至リ居候
次第御座候先度敝主ノ呈上シタル願書モ命令遵奉セサル譯ニハ無御座清國ト御協
議濟ノ間延期奉願タル儀ニ御座候間何卒廢藩ノ御處置ハ御仁免被成下度敝主ニハ
御嚴命拝承スルヨリ神魂飛散シ思慮工面モ届兼候付臣子ノ情節何^{とも}モ緘黙シ難ク嚴
威ヲ憚ラス陳情仕候間幾重ニモ情實御憫察被成下度泣血奉懇願候

明治(エ)年三月廿八日

(原文にはふりがなはついていないが、読みやすいように一部の字にふりがなを
振った。)

問 1 (ア)の人物について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 薩摩藩出身の明治政府官僚であったが、政府の命により琉球国王から施政権を引き継ぎ、琉球藩王として統治した。
- B 中山王・尚巴志の孫にあたり、琉球王国の最後の王であったが、廃藩置県後は侯爵に叙せられ、後に貴族院議員になった。
- C 琉球藩王となった後も、清国への朝貢を続け、日本と清国への両属関係を維持しようと努めた。
- D 琉球藩が沖縄県になった際に、初代の沖縄県知事に任命され、日本への同化や人頭税廃止などの改革に取り組んだ。

問 2 (イ)の前の年に起きた事件に関連して、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 那覇を出帆した漁船が航海中に嵐で遭難し、台湾南端に漂着したところ、先住民族に襲撃され全員殺害されたことから、琉球藩王は清国に厳重に抗議した。
- B 那覇を出帆した漁船が台湾に漂着し、先住民族の牡丹社に襲撃され殺害されたことから、事態を重くみた清国は南洋艦隊3隻を急派して、牡丹社を平定した。
- C 那覇を出帆した漁船が台湾に漂着し、先住民族に襲撃されたことから、琉球は今帰仁王子を頭目とする兵士2500人を台湾に派兵して反撃した。
- D 那覇を出帆した漁船が台湾に漂着し、先住民族に襲撃され殺害されたが、襲撃から逃れた人々は現地の清国人官民に保護され、翌年那覇に帰還した。

問 3 史料Aが宣せられた時に外務卿を務めていた人物をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 大木喬任 B 後藤象二郎 C 木戸孝允 D 副島種臣

問 4 (イ)の年の後に、日本軍による「台湾出兵」(「征台の役」とも呼ばれる)が起きた。この「台湾出兵」について、誤った記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 明治政府首脳の中で、参議の木戸孝允は、内治優先論の立場から台湾への出兵計画「台湾蕃地処分要略」に強く反対した。
- B 清国駐在のイギリス公使ウェードが日清間の仲介に乗り出し、撤兵の交渉がまとまった。
- C 台湾蕃地事務都督に任命された西郷従道は、政府による出兵の一時中止の決定に従わず、出兵を強行した。
- D 台湾に出兵した日本軍は、現地の先住民族を平定した後も現地に居座り、3年間台湾西部の支配を続けた。

問 5 (イ)の年から(エ)の年の間に、明治政府内で起きた政変について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 政変の後、旧西南雄藩士族層の間に反政府的な気運が高まり、1876年には神風連の乱や萩の乱、秋月の乱が起きた。
- B 政権を去った後藤象二郎は、出身地の高知県に帰り、同郷の後輩である副島種臣と連れ立ってよく釣りに行っていた。
- C 伊藤博文から罷免された大隈重信は、イギリス風の議会政治を主張する立憲改進黨の党首に就任した。
- D 政権を去った江藤新平は、不平士族に推されて佐賀の乱を起こしたが、乱を平定して処刑を行ったのは、同じ佐賀藩出身の大木喬任内務卿であった。

問 6 (ウ)の人物に関して誤った説明文をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 八月十八日の政変で朝廷を追われ、京都を逃れた。
- B 1871(明治4)年に太政大臣に就任し、1885年には内大臣に就任した。
- C 岩倉使節団の一員として、アメリカ政府との間で関税自主権を認めるよう交渉した。
- D 黒田清隆内閣が倒れた後、内閣総理大臣を一時務めた。

問 7 史料Bは、どのような人物が何を訴えている文書なのか、当てはまる説明文をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 琉球藩王が、琉球藩の廃藩という処分に大いに驚き、まずはその処分を一旦取り消して、清国と今後の方針を話し合っしてほしいと訴えた文書である。
- B 琉球藩王が、明治政府による琉球王家の廃止と新たな藩主への交替という処分に対し、それでは旧来の「臣子の情節」が絶たれてしまうと憂えた文書である。
- C 琉球がもともと独立国で君主を戴いていた点で琉球藩は他藩とは違っていただけや、廃藩という処分を延期してほしいことを、琉球の有力者たちが訴えた文書である。
- D 琉球藩王が上京を命じられたため、人々の「憂心」は「死ニ就ク」ほどに深まり、藩王も茫然自失としているので、琉球の有力者たちが猶予を求めた文書である。

問 8 史料Bが出された時代は、自由民権運動が盛んであった。(エ)の年以降にあった出来事を、A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 民撰議院設立の建白書の提出
- B 立憲政体樹立の詔の布告
- C 国会期成同盟の結成
- D 立志社建白の提出と却下

問 9 史料Aや史料Bが出された時代は、文明開化の時代でもあった。史料Aが出される前にあった出来事をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 森有礼が福沢諭吉や加藤弘之らと明六社を設立した。
- B 政府は自由民権運動に対処するため讒謗律と新聞紙条例を定めた。
- C 政府は神道による国民教化のため大教宣布の詔を発した。
- D 政府はキリシタン禁制の高札を撤去し、禁教を事実上撤回した。

問10 史料Bが出された後、(エ)の年に、琉球の帰属をめぐって日本と清国との間で交渉が行われた。この交渉について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 日本と清国の交渉の中で、清国の李鴻章は宮古列島や八重山列島を清国領とし、沖縄諸島を琉球王国とし、奄美諸島を日本領とする案を提示した。

B 清国は、日本が一方的に琉球を併合したことに抗議したが、日本側の一貫して強硬な姿勢のため、日本の主張を受け容れて琉球の併合を認めざるを得なかった。

C 日本と清国の交渉が行き詰まりを見せていたため、アメリカ大統領グラントが両国の仲裁に入り、日本と清国との間で琉球を分割することで合意し、調印に至った。

D 日本は清国に琉球の宮古列島と八重山列島を割譲する代わりに、日清修好条規を改定して、清国から最恵国待遇を得ることができた。

問11 史料Bが出された後の沖縄県では、旧来の土地・租税・地方制度がそのまま残され、参政権の付与も遅れたことから、自由民権運動が起きた。共有山林の官有地化に反対する運動や、参政権獲得運動を展開し、沖縄県職員辞任後は東京で沖縄倶楽部を結成し『沖縄時論』を発行した人物の氏名を、漢字(楷書)で丁寧に記入しなさい。

【史料C】

第一條 臺灣總督ハ其ノ管轄区域内ニ法律ノ效力ヲ有スル命令ヲ發スルコトヲ得

第二條 前條ノ命令ハ臺灣總督府評議會ノ議決ヲ取り拓殖務大臣ヲ經テ勅裁ヲ請フヘシ

臺灣總督府評議會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 臨時緊急ヲ要スル場合ニ於テ臺灣總督ハ前條第一項ノ手續ヲ經スシテ直ニ第一條ノ命令ヲ發スルコトヲ得 (以下略)

問12 史料Cが交付された前の年の出来事として正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 日清戦争が激化する中で、北洋艦隊を統率する李鴻章は日本との講和に反対して徹底抗戦を主張したが、光緒帝と西太后は早期に日本と講和すべきとして鋭く対立した。
- B 三国干渉の際に、台湾に交易拠点を築いていたイギリスは、遼東半島だけでなく台湾も清国に返還すべきだと強く主張したが、ドイツとロシアが同意しなかった。
- C 下関条約の締結後、日本の台湾領有に反対する台湾住民は、唐景崧を総統とする「台湾民主国」を建国し、台北に首都を置いたが、日本軍の攻撃によって壊滅させられた。
- D 台湾の日本への割譲に反対した清国の武将劉銘伝や邵友濂らが、鄭成功の末裔である鄭經を国王に担いで建国し、その後1年5か月にわたって日本軍に抵抗を続けた。

問13 日本統治下における台湾の統治に関して、誤った記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 史料Cに「法律ノ效力ヲ有スル命令ヲ發スルコトヲ得」とあるように、台湾総督は、法律に相当する命令を出せるなど、強大な権限を握っていた。
- B 史料Cに「臺灣總督府評議會ノ組織ノ議決ヲ取り」とあるように、総選挙で選ばれた台湾人の評議員による評議会が立法権を持ち、実質的に決定権限を握っていた。
- C 史料Cに「臨時緊急ヲ要スル場合ニ於テ」とあるように、住民による日本への抵抗により緊急に治安維持の必要がある場合に備えて、台湾総督に権限が与えられていた。
- D 史料Cのいう「法律ノ效力ヲ有スル命令」は台湾総督による立法権を意味するが、1921年の法改正により、内地の法律が台湾にも次々に施行されるようになった。

問14 日本統治下における台湾初代の民政長官は、台湾内部の調査による状況把握や阿片の漸禁策などを積極的に進めた。この人物の名前をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 寺島宗則 B 山田顕義 C 児玉源太郎 D 後藤新平

問15 日本統治下における台湾の経済について、正しい説明文をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 1899年に設立された株式会社台湾銀行は台湾銀行券を発行し、台湾の金融の中心を担っていたが、昭和の金融恐慌のさなか、第十五銀行などとともに倒産に追い込まれた。
- B 日本による台湾統治の48年間を通じて、台湾総督府による専制的な武力統治と、それに反発する住民との抗争が絶えず、コメや砂糖など農産物の生産は低迷し続けた。
- C 台湾製糖株式会社が設立され、製糖業は従来の零細な生産体制から、工場による大量生産への転換がはかられた。
- D 台湾総督府は、住民からの租税の徴収には熱心だったが、鉄道や道路の敷設、港湾や発電所の建設、職業教育には取り組まず、住民は前近代的な生活を余儀なくされていた。

〔Ⅱ〕

(1) 以下の史料を読み、問いに答えなさい。

【史料A】

(略)吾々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行爲によって、祖先を辱しめ、人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を勤はる事が何んであるかをよく知ってゐる吾々は、心から人世の熱と光を願求禮讃するものである。(ア)は、かくして生れた。(略)

問 1 史料Aは1922年に結成された組織の宣言文である。(ア)にふさわしい言葉をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 青鞮社 B 黎明会 C 新婦人協会 D 水平社

問 2 史料Aの文章を起草した人物の氏名を漢字(楷書)で丁寧に記入しなさい。

問 3 史料Aに関する社会問題をテーマにした作品をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 『破戒』 B 『女工哀史』 C 『路傍の石』 D 『人間万歳』

問 4 同時代にはさまざまな社会運動が勃興し、いくつもの組織が結成された。

以下の史料はこのような運動にゆかりの深い文章である。これらの運動のうち、問 1 の宣言文以前の文章はいくつあるか。その数として正しいものを A～D の中から 1 つ選び、その記号をマークしなさい。

- ① 「婦人も亦婦人全体のために、その正しき義務と権利の遂行のために団結すべき時が来ました。今こそ婦人は婦人自身の教養、その自我の充実を期するのみならず、相互の堅き団結の力によって、その社会的地位の向上改善を計り婦人としての母としての、権利の獲得のため、男子と協力して戦後の社会改善の実際運動に参加すべき時であります。」
- ② 「元始、女性は實に太陽であつた。眞正の人であつた。今、女性は月である。他に依つて生き、他の光によつて輝く、病人のやうな蒼白い顔の月である。」
- ③ 「一、日本の国本を学理的に闡明し、世界人文發達に於ける日本独特の使命を發揮すること。二、世界の大勢に逆行する危険なる頑冥思想を撲滅すること。三、戦後世界の新趨勢に順応して、国民生活の安固充実を促進すること。」

A 0

B 1

C 2

D 3

(2) 次の文章を読み、設問に答えなさい。

1944年10月にアメリカ軍はレイテ島に上陸し、フィリピン奪回作戦がはじまった。翌1945年3月にアメリカ軍は硫黄島を占領した。そして3月26日にアメリカ軍は(イ)列島に上陸し、つづいて4月1日には沖縄本島に上陸して、日本軍を攻撃した。その攻撃の激しさを、沖縄県民は「ウ」とのちに形容した。日本軍は、その兵力不足を補うために、旧制中学校男子生徒らを召集して(エ)を組織し戦闘に従事させ、また、高等女学校などの教師と生徒を女子学徒隊に組織して、地下壕にあった軍の病院の看護要員とした。生徒らは多数の犠牲者を出した。日本軍は沖縄戦でアメリカ軍と激しく戦ったが、6月下旬には組織的な戦闘を終了した。

7月にはいって、連合国首脳はポツダム会談をもった。会談を契機として、7月26日に、連合国首脳はポツダム宣言を^(キ)発表した。これを知った日本の外務省は、ポツダム宣言の翻訳文を作成した。鈴木貫太郎内閣はポツダム宣言を黙殺す^(ク)ると発表した^(ケ)が、これを拒絶と理解したアメリカは、8月に2発の原子爆弾を日本に投下した。また、ソ連は日本に宣戦布告して、満州・朝鮮に侵入した。満州を守備する関東軍は、ソ連国境近くの満蒙開拓団などを保護することなく、壊滅した。この状況下でも日本陸軍は本土決戦を主張したが、(サ)の御前会議でポツダム宣言の受諾が最終決定された。

問 5 (ア)に関連する事項について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A フィリピンとマカオは、長期間、ポルトガルの植民地であったが、米西戦争にアメリカが勝利した結果、1899年からフィリピンはアメリカの植民地となっていた。

B 1910年の桂—タフト協定では、日本はアメリカのフィリピン支配を認めた。

C 1941年12月に日本軍がフィリピン攻撃を開始したとき、ダグラス・マッカーサーはフィリピンに駐在するアメリカ陸軍の軍人であった。

D 1942年10月に日本はフィリピン共和国の独立を認め、フィリピン共和国のラウエル大統領は、同年11月に開催された大東亜会議に出席した。

問 6 (イ)にあてはまる列島名を、A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 慶良間 B 吐噶喇 C 甌島 D 先島

問 7 「ウ」は、1950年に出版された本の書名から広まりました。その書名を丁寧に記入しなさい。

問 8 (エ)にあてはまる組織名を、A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 琉球挺身隊 B 沖縄報国隊 C 護国赤心隊 D 鉄血勤皇隊

問 9 (オ)に関連する事項について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A (エ)の隊員は県立学校の生徒であったため、各隊員の戦死状況は沖縄県に報告されており、報告文書は県庁地下倉庫に残されていた。
- B 大田昌秀は(エ)の隊員であったが、太平洋戦争の終戦後まで生き残ることができ、1990年に沖縄県知事に当選した。
- C 女子学徒隊が活動していた陸軍病院の壕は、6月8日にアメリカ軍による爆撃の直撃を受け、この直撃によって、隊員の半数以上が死亡した。
- D 女子学徒隊は6月8日に解散を命令され、「ひめゆり学徒隊」は北部の山林地帯(やんばる)に避難したが、食糧不足とマラリア感染によって、隊員の半数以上が死亡した。

問10 (カ)に関連する事項について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 軍用機がアメリカ軍艦船へ体当たりする特攻隊の攻撃方法は、沖縄戦初期の4月3日に、日本陸海軍が太平洋戦争ではじめて実行した。
- B 沖縄戦におけるアメリカ軍の戦死者・行方不明者は約8000人であって、硫黄島戦におけるアメリカ軍の戦死者・行方不明者よりも多かった。
- C 沖縄戦では、日本軍は手榴弾を配るなどして、800人以上の県民を「集団自決」に追い込んだ。
- D 沖縄戦では、民間人である沖縄県民の約7万人が死亡し、それは1945年3月現在の沖縄県人口の約10パーセントにあたった。

問11 (キ)に出席していない連合国首脳を、A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 蔣介石 B スターリン C トルーマン D チャーチル

問12 (ク)の中に含まれない文章を、A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 合衆国、英帝国及中華民国ノ巨大ナル陸、海、空軍ハ西方ヨリ自国ノ陸軍及空軍ニ依ル数倍ノ増強ヲ受ケ日本国ニ対シ最後の打撃ヲ加フルノ態勢ヲ整ヘタリ
- B 降伏ノ時ヨリ天皇及ヒ日本国政府ノ国家統治ノ権限ハ降伏条項ノ実施ノ為其ノ必要ト認ムル措置ヲ執ル連合軍最高司令官ノ制限ノ下ニ置カルルモノトス
- C 吾等ハ無責任ナル軍国主義カ世界ヨリ駆逐セラルルニ至ル迄ハ平和、安全及正義ノ新秩序カ生シ得サルコトヲ主張スルモノナルヲ以テ日本国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ挙ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ永久ニ除去セラレサルヘカラス
- D 吾等ハ日本国政府カ直ニ全日本国軍隊ノ無条件降伏ヲ宣言シ且右行動ニ於ケル同政府ノ誠意ニ付適当且充分ナル保障ヲ提供センコトヲ同政府ニ対シ要求ス右以外ノ日本国ノ選択ハ迅速且完全ナル壊滅アルノミトス

問13 (ケ)について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 広島と長崎に原子爆弾を投下したB29は、エノラ・ゲイと命名された特別仕様機であって、硫黄島に新設された専用の滑走路から出撃した。
- B 第1発目は8月6日に広島に、第2発目は8月8日に長崎に投下された。
- C 広島市原爆死没者名簿に2019年8月に登載された死没者数は、合計32万人弱であり、長崎市原爆死没者名簿に2019年8月に登載された死没者数は合計18万人強であった。
- D 永井隆『この子を残して』、峠三吉『原爆詩集』、井伏鱒二『黒い雨』、野坂昭如『火垂るの墓』、中沢啓治『はだしのゲン』、こうの史代『この世界の片隅に』は、いずれも、広島に投下された原子爆弾に関連する作品である。

問14 (コ)に関連する事項について、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 関東軍は、栃木県など関東地方で編成された精鋭師団が中心だったため、この名称があるが、戦況の激化によって多くの師団が南方戦線に移動し、1945年8月には実質的に弱体であった。
- B 関東軍は多数の戦死者を出したものの、生き残った約50万人の兵士の大多数は、満州各地の収容所に入れられた後、1946年12月末までに日本に復員した。
- C 満蒙開拓団の団員は、満蒙拓殖公社の仲介によって、地元住民から広大な未耕作地を無償で入手し、また地元住民を小作人とすることが多かったため、地元住民の満蒙開拓団にたいする反感は根強かった。
- D 長野県内に「満蒙開拓平和記念館」が2013年に開設されたが、同館によれば、満蒙開拓団として日本から約27万人が送り込まれ、その最多は長野県からであった。

問15 (サ)にあてはまる月日を, A~Dの中から1つ選び, その記号をマークしなさい。

A 8月12日 B 8月13日 C 8月14日 D 8月15日

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問に答えなさい。

戦後の日本で、^(ア)高度経済成長期に成長を遂げた企業は多い。ホンダ(本田技研工業株式会社)とソニー(ソニー株式会社)は、その代表であろう。両社の創設から高度成長期までの足跡をたどってみよう。

ホンダの創業者の本田宗一郎(1906—1991)は、自動車の修理やピストンリングの製造の仕事を経た後、1946年に本田技術研究所を設けた。この年、ソニーの前身の東京通信工業も設立された。同社の代表取締役専務は井深大^{いぶかまさる}(1908—1997)であり、もうひとりのリーダーが取締役に就いた盛田昭夫(1921—1999)であった。^(イ)

1947年に、ホンダは、自転車に取り付ける補助エンジンのA型エンジンを自^(ウ)社で開発した。1948年には、本田技術研究所を本田技研工業株式会社とした。

1949年にホンダは、オートバイのドリーム号D型を発売し、エンジン・メーカー^(エ)から、車体とエンジンの双方を製造するオートバイ・メーカーへと発展した。同年、本田宗一郎を支えるパートナーとして藤沢武夫(1910—1988)が入社した。藤沢武夫は、1952年のF型カブの発売に際して、全国に5万数千軒あった自転車店に注目し、1万数千軒にカブを取り扱ってもらうこととした。

1950年、ソニーは日本初とされる^(オ)テープレコーダーG型を発売した。しかし、これは高価格で重量も重く、あまり売れる気配がなかった。それでも、裁判所などに売り込んでなんとか売れた。その後、小型軽量化をはかった新しいH型^(カ)テープレコーダーを学校の視聴覚教材用として発売した。盛田昭夫が中心となって学校に赴き、操作方法を教えながら販売し、売上を伸ばしていった。この頃から、井深が技術開発、盛田が製品の販売をそれぞれ主に担当するという役割分担となっていった。

1955年に、東京通信工業は、製品にSONYのマークを使用することを決めた。^(キ)同年に、日本初のトランジスタ・ラジオのTR-55を発売した。1957年に発売されたトランジスタ・ラジオTR-63は、本格的な輸出品^(ク)のさきがけとなった。そして、1958年には、社名をソニー株式会社に変更した。

その1958年に、ホンダでは、二輪軽量車のスーパーカブを発売し、その翌

年、アメリカン・ホンダ・モーターを設立して海外市場にも進出し、大々的な広告・宣伝活動によってホンダとスーパーカブの知名度を高めた。世界でのホンダの知名度をさらに高めたのは、1961年のイギリスでのオートバイ・レースでの優勝であった。

ソニーも1960年にソニー・コーポレーション・オブ・アメリカを設立し、1962年にはニューヨークに「五番街の日章旗」と呼ばれたショー・ルームも開設した。この間の1961年に、ソニーでは、アメリカ預託証券(ADR)を発行して、海外での資本調達に乗り出した。1962年には、ホンダもADRを発行した。

政府が、資本の自由化による外資参入の危機に対して国会に提出した法案(審査未了のまま廃案)^(ケ)で、既存の自動車製造企業の組織化による国際競争力の強化をはかると、ホンダも急ぎ四輪自動車へ進出した。1963年には、軽トラックのT360とスポーツカーのS500を発売した。自動車の発売に際して、それまでの二輪車販売店に自動車も扱ってもらうことにした。しかし、二輪の店の面積では自動車の修理工場の設置は難しかった。そこで、1964年から複数の販売店が共同で使用できる整備・修理工場、すなわちサービス・ファクトリー(SF)を建設していった。これも、藤沢のアイデアであったとされている。同じ1964年には、F1に初めて出場した。1967年には、軽乗用車のN360を発売した。

ソニーは、1965年にクロマトロン方式19型カラーテレビを発売した。その後、いくつかの難点を改良する努力を重ね、1968年にはトリニトロン方式のカラーテレビ^(ク)を発売した。このテレビの販売好調をきっかけに、ソニーではソニー・ショップなどの流通の系列化に着手したとされる。

1972年、ホンダは低公害型^(コ)のCVCCエンジンを発表した。このエンジンは、当時としては最も厳しいとされたアメリカの排出ガス規制のマスキー法をクリアした。この翌年の1973年、本田宗一郎(社長)と藤沢武夫(副社長)は、そろって退任した。

問 1 (ア)に関して、日本の高度経済成長に関する説明として正しくない記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 1958年、日清食品がインスタントラーメンを発売した。
- B 1958年に成立した池田勇人内閣が打ち出した所得倍增計画は、高度経済成長を方向づけた。
- C 大企業による大型の設備投資がなされ、技術革新が進んだ。
- D 好景気は、不況の時期を挟んで、いくつか訪れた。その景気の呼称を時期順に並べると、神武景気→岩戸景気→オリンピック景気→いざなぎ景気という順番であった。

問 2 (イ)の井深大は栃木県に生まれた。栃木県に関連する歴史上の事実として正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 衆議院議員として田中正造が選出された。
- B 富岡製糸場が設立された。
- C 第1回内国勸業博覧会が開催された。
- D 岩崎弥太郎が生まれた。

問 3 (ウ)に関して、この年にあった事実として、正しいものをA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 労働組合法が制定された。
- B 極東国際軍事裁判所での裁判(東京裁判)が始まった。
- C 日本国憲法が公布された。
- D 過度経済力集中排除法が制定された。

問 4 (エ)に関して、この年に来日したジョセフ・ドッジが指示した施策として正しいものをA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 1ドル=340円の単一為替レートを設定した。
- B 赤字のない均衡予算を作成させた。
- C 復興金融金庫を創設させた。
- D 独占禁止法の早期制定を指示した。

問 5 (カ)の 1950 年に勃発した朝鮮戦争に関する記述として、正しくない記述を

A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 北朝鮮が 1950 年 6 月に、38 度線を越えて韓国に侵攻し、戦争が始まった。

B 中国人民義勇軍(人民志願軍)が、北朝鮮を援助した。

C アメリカを主力とする国連軍は、1950 年 9 月の仁川上陸作戦を転機として北緯 38 度線を越えて中国の国境に迫った。

D 1953 年 7 月に、北京で休戦協定が調印された。

問 6 (カ)が進化した製品のひとつとして、ソニーでは 1979 年にステレオカセット

プレーヤー“ウォークマン”「TPS-L 2」を発売した。この 1979 年に内閣総理大臣を務めていた人物の正しい氏名を A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 福田赳夫 B 鈴木善幸 C 大平正芳 D 中曽根康弘

問 7 (キ)に関して、1955 年にあった事実として正しい記述を A～Dの中から1

つ選び、その記号をマークしなさい。

A 農業基本法が制定された。 B 田中角栄内閣が総辞職した。

C 日本が G A T T に加盟した。 D 文化財保護法が制定された。

問 8 (ク)に関して、1960 年代後半以降の輸出に関して、その中心となった製品

として、正しくない製品を A～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 鉄鋼 B 船舶 C 生糸 D 自動車

問 9 (ケ)に関して、日本が O E C D に加盟した年として、正しい年を A～Dの中

から1つ選び、その記号をマークしなさい。

A 1960 年 B 1964 年 C 1968 年 D 1972 年

問10 (ㄷ)に関して、乗用車の普及率が約60%となった時期として、正しい時期をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 1960年前後
- B 1970年前後
- C 1980年前後
- D 1990年前後

問11 (ㄹ)に関して、この1965年にノーベル賞(物理学賞)を受賞した日本人の氏名を、漢字(楷書)で丁寧に記入しなさい。

問12 (ㄷ)に関して、1968年にあった事実として、正しい記述をA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A GNPが資本主義国のなかで第2位となった。
- B 大阪で日本万国博覧会が開催された。
- C 日中平和友好条約が締結された。
- D テレビ放送が始まった。

問13 (ㄷ)は、「3C」と称された家電品のひとつであった。これ以前の時期に、「三種の神器」と称された家電品の組み合わせとして正しいものをA～Dの中から1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 白黒テレビ — 電気炊飯器 — 電気洗濯機
- B 白黒テレビ — 電気冷蔵庫 — 電気炊飯器
- C 白黒テレビ — 電気洗濯機 — 電気冷蔵庫
- D 電気冷蔵庫 — 電気炊飯器 — 電気洗濯機

問14 (ㄷ)に関して、正しくない記述をA～Dの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 松下電器(現：パナソニック)は、系列販売店組織を整備した。
- B トヨタ自動車は、ディーラーシステムをつくった。
- C 高度経済成長期に、廉価販売によってスーパーマーケットが成長した。
- D ダイエーは、1965年に売上高で三越を抜いて小売業首位となった。

問15 (ソ)に関して、日本で公害対策基本法が制定された年として正しい年をA～Dの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

A 1964年 B 1967年 C 1968年 D 1972年